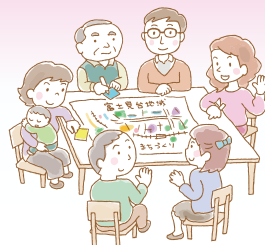


国立市富士見台地域まちづくり

令和元(2019)年度の取り組み

多くの公共施設があり、市制の礎となった国立富士見台団地がある富士見台地域は、市にとって核となる地域です。

そこで、国立市では、これからのモデルとなるようなまちづくりに必要な取り組みをまとめた「(仮)国立市富士見台地域重点まちづくり構想」を令和2(2020)年度中に策定する予定です。



<市民による重点構想をつくるために>

●富士見台ミーティングを開催しています

重点構想には、皆さんの暮らしの視点が欠かせません。そのため「富士見台地域まちづくり協議会」では広く市民の参加を得て構想を検討する「富士見台ミーティング」を主催しています。富士見台ミーティングは市内在住・在勤・在学の方であれば、どなたでも参加いただけます。今年度は4回開催し、令和2(2020)年度も継続しますので、是非ご参加ください。

(※) 「富士見台地域まちづくり協議会」は、地域団体や地域住民等で構成され、富士見台ミーティングで作成した重点構想を取りまとめて市へ提案する組織です。



ミーティングの様子

<今年度の成果として>

●「整備方針（たたき台）」を整理しました

富士見台地域の魅力的な場所の価値を継承するまちづくりを基本的な考え方として、6つの方針が整理されました。

整備方針（たたき台）

方針1 支え合いを育む居場所の充実を図る

- ①身近な居場所を多くの市民に活用してもらう
- ②既存の施設や店舗などの居場所機能の充実を図る
- ③屋外空間を居場所として活用する
- ④安心な生活を支える総合的な拠点をつくる

方針2 気軽に外出したくなる環境を整える

- ①外出時に休憩できるスポットを充実させる
- ②まちなかを巡る歩行空間の魅力高める
- ③だれもが気軽に外出できる移動の手段や仕組みを整える

方針3 多様な人が暮らせる住まいづくりを進める

- ①国立富士見台団地を核として地域の暮らしの魅力高める
- ②多様な住まい方を選択できるようにする

方針4 にぎわいの空間をつくる・活用する

- ①公共施設の再編にあわせてにぎわい創出を検討する
- ②にぎわいを創出する公共空間の活用を進める
- ③商店街をにぎわいの場として多様な活用を進める
- ④にぎわいを維持・誘導するエリアとルールを検討する

方針5 富士見台地域ならではの環境・景観の魅力を高める

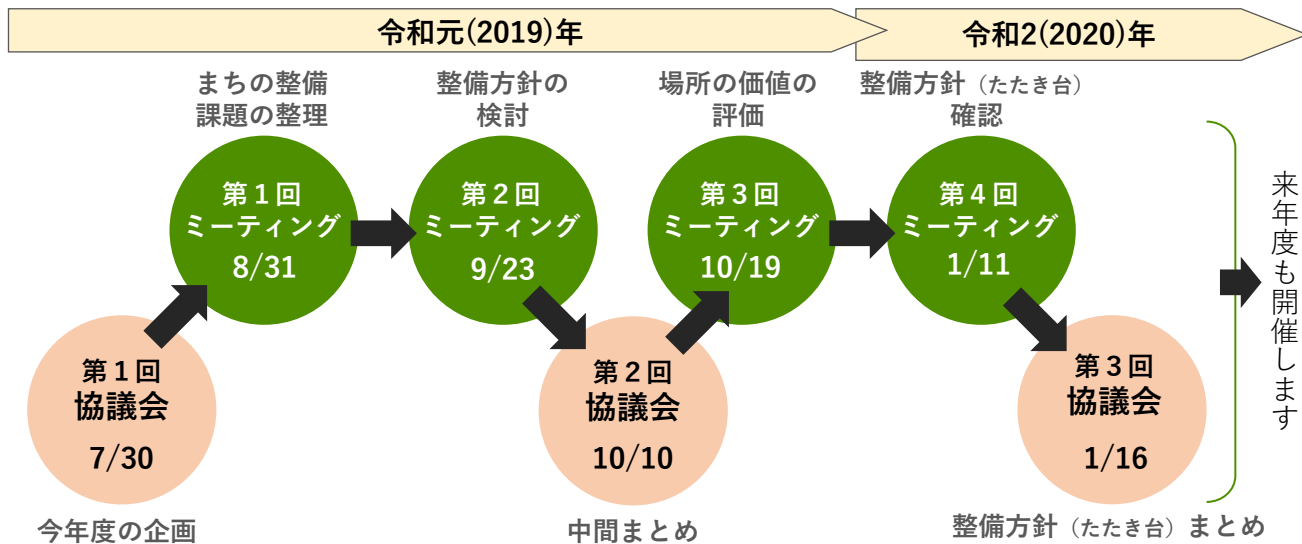
- ①緑の連続性を感じる空間づくりを進める
- ②さくら通り沿道に魅力的なオープンスペースを確保する
- ③富士見台地域の個性ある景観を生かす

方針6 コミュニティづくりの担い手を育む

- ①顔の見えるコミュニティづくりを大切にする
- ②市民が場の運営やまちづくりに主体的に関われる仕組みを検討する
- ③市民活動を応援するコーディネーターを育成する
- ④子どもたちが地域で多様な経験をやる機会を増やす

今年度の取組の流れ

今年度は、「富士見台地域まちづくり協議会」を3回、「富士見台ミーティング」を4回開催しました。また、今回の取り組みでは、専門家による研究チーム（コミュニティアセスメント研究会／座長：東京大学・小泉秀樹教授）の協力を得て進めています。



今年度の富士見台ミーティング（全4回）

富士見台地域にとって大切な4つの検討テーマ（①だれもが住み続けられるまちづくり、②まちなにぎわいづくり、③様々な世代にとって心地よい居場所づくり、④歩きたくなるまちのつくり方・使い方の工夫）ごとに取組みの方向性やアイデアを話し合いました。

また、富士見台地域の魅力的な場所の価値を継承するため、市民が大切に感じている場所やその魅力について話し合いました。



実施概要

回	日時	参加	会場	内容
第1回	8月31日（土）13：30～16：00	55名	市役所	まちの整備課題の整理
第2回	9月23日（月祝）13：30～16：00	49名	市役所	整備方針の検討
第3回	10月19日（土）13：30～16：00	48名	市役所	場所の価値の評価
第4回	1月11日（土）10：00～12：00	46名	芸小ホール	整備方針（たたき台）の確認



全体発表・共有の様子



好きな場所を出し合い



パネルに貼り出した方針に意見出し

国立市富士見台地域まちづくり協議会 事務局

（国立市 都市整備部 富士見台地域まちづくり担当）担当 中道・布施

TEL 042-576-2111(内線383) FAX 042-576-0264 E-mail sec_fuji@city.kunitachi.lg.jp